

細江カトリック教会だより 12月

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294 ㊟083-222-0970

広島教区テーマ：平和の使徒となろう

チャレンジ新しい福音宣教 ～わたしをお使いください～

—家庭へのチャレンジ—

神の慈しみの訪れ

落ち葉が風に舞う季節となり、待降節を迎えました。救いの到来を待ち望むという、おそらくは一年中でもっとも美しく、せつなく、思いのつる季節ではないでしょうか。しだいに夜が長くなり、寒さが厳しくなるにつれ、私たちの心にある光への憧れはますます大きくなります。それはまた、さまざまな試練の中で、なつかしい主との出会いの日に思いを馳せる、私たちの人生の縮図でもあります。

今年待降節に合わせて、教皇フランシスコが「慈しみの特別聖年」を公布なさいました。

「聖年」とは、カトリック教会の古来の習わしで、通常なら25年に一度、聖ペトロ大聖堂の聖年の扉を開き、巡礼者たちを招き、世界中の信徒に祈りを呼びかけるものですが、今年は「慈しみ」という特別のテーマのもとに聖年の呼びかけがなされました。それは、現代の世界が戦争や暴力やテロの脅威に脅かされ、多くの難民が救いを求めてさまよい、新しい形の戦争という危機の状況にあるからです。

聖書では、神さまの「慈しみ」は「憐れみ」とも訳されています。「主はお前の罪をことごとく赦し、病をすべて癒し、命を墓から贖い出してください。慈しみと憐れみの冠を授けてくださる」(詩編 103・3-4)。「主は虐げられている人のために裁きをし、飢えている人にパンをお与えになる。主は捕らわれ人を解き放ち、主は見えない人の目を開き、主はうずくまってい

る人を起こされる」(詩編 146・7-8)。そして、この神さまの慈しみと憐れみは、主イエス・キリストを通して目に見えるものとなりました。イエスは貧しい人、病気の人、失意の人、社会の周辺に追いやられている人を特別に愛し、進んで彼らの友となりました。イエスはご自分のいのちさえ捧げて、死の恐怖から人類を解放してくださいました。

この特別聖年は、今こそ私たちが神さまの罪びとへのゆるしと慈しみを思い、互いのゆるしと思いやりをもつように、と呼びかけます。世界の平和は、人々が互いのゆるしと思いやりの

心をもたなければ、決して実現されないでしょう。

主イエスがベツレヘムの貧しい馬小屋で生まれたとき、素朴で純粋な羊飼いたちや村人たちが、幼子のもとに集



まってきました。まぶねのイエスとそれを囲むマリアとヨセフ、神が呼びになった神の子らの共同体は、私たち教会の原型です。神さまはこの信仰の共同体を通して、闇の世界に光を灯してくださいました。この光がもっと大きく輝いて、闇の中にいる人々を照らしますように。打ちひしがれた者に励ましと勇気を、孤独の者に喜びを、諸民族に相互のゆるしと和解をもたらしてくださいるように祈りましょう。

百瀬 文晃 神父

*挿絵はヴェロネーゼ「羊飼いたちの礼拝」

1523-25

シリーズ 地区だより VIII

家庭はゆるしのある場である

現在の複雑な社会では人と人との交わりが疎遠で、協力して物事を行う時にその相手に対して必要以上に気を遣いながら行動しなければならなくなったような気がする。ところが、時にはそのつもりはないのに、勘違いやボタンのかけ違いで相手を傷つけてしまっていることもある。そうなれば、一気に人間関係が悪化してしまう。そうした経験をお持ちの方も多いことだろう。人は家庭で「ゆるしを願うこと」「ゆるしを与えること」を学び「ゆるされること」を体験する。「ゆるしの具体化」は「神の憐れみと恵み」の体験の場となる。複雑な人間社会においてもキリスト者の家庭はそうでありたいと願う。そして社会の中に「人をゆるす」という福音宣教を広げていきたい。

新下関地区 佐伯 英哉

七五三祝(子どもの祝福) 11/15

子どもたちがこれからも平和で元気な日々を送れますよう・・・願う。



参列した子どもたちは一時帰国なされた中井神父から祝福をいただく。



介護研修会 11/15

認知症予防の三本柱！は

- ＊優しさのシャワーを浴びると癒される
 - ＊脳活性化（20種類のゲームで脳の機能を同時に心地よく刺激する。）
 - ＊腹の底から自然に大笑いすること。
- 「脳活性化ゲームと優しさシャワーと笑い」この3つがより合わさって自信と意欲を取り戻すための大きな柱になる。

指導講師は波戸崎 冨み子さん

みんなで楽しみながら・・・



＊皆さん、大笑いは脳の血流がよくなるよ。



＊優しさのシャワーとは、目に見えやすい表のやさしさと、表に出さない見えないように発揮する優しさの両面性が求められる。

相手の良いところを引き出す。

（目配り、気配り、心配りが大事）

2015 クリスマス Charity コンサート

戦後 70 年を迎えて

11/28 (土)

待降節前に素晴らしい準備ができました。美しいヴァイオリンやハープの音色とオルガン、ソプラノが人々を魅了しました。たくさんの方々には聴かせてあげたい・・・勿体ない～くらいの演奏でした。ひと時の至福の時間を過ごせたことを感謝いたします。(こ)

*戦後 70 年を生きて——私の平和

キリストは「わたしの平和をあなたがたに与える」と仰せになりました。典礼の中で平和の挨拶をするとき、「主の平和」とはどういうものだろうか、近頃しみじみ考えます。確かに反戦は平和の第一条件ですが、未来永劫戦争がないという保障はなく、天災や不慮の出来事は、ままたこりうるのが現実ならば、不足の事態で雲散霧消する平和は、「主の平和」とは程遠いように思えるのです。

毎年 8 月になると、戦争の悲惨な体験を次世代に語り継ぐべきだという声を耳にしますが、戦中派の私にとって、当時は厳しい時代ではありましたが、今悲惨さばかりを強調する事には少し異論があります。確かに環境は現在と比べものにはなりません、私の知る限り、人々はお互いに助け合い、乏しい食料を分け合って、思いやりや優しさを失ってはいませんでした。空襲のさなかにも笑いがあり、私自身人々の暖かい心遣いをたくさんいただきました。

むしろ現代の方が、心に余裕のない人が多いように見受けられるのは、私の偏見でしょうか。

今思うと戦中戦後の体験はとても貴重なものでした。体験は識別して取捨選択すれば、教科書や耳学問よりはるかに強固な学習となり、人間の内面にどっしりと根付くように思えます。

戦争の悲惨さを記録するのは大切ですが、教会便りの 10 月号に、百瀬神父様が幼児教育についてお書きになっているとおり、子どもたちの靈魂に、『神様に向かう心の芽生え』と、『困難を乗り越える意志を養い』、キリストから与えられた真の平和が及びますようにと、祈らずにはいません。私は血縁には恵まれませんでした。私はキリストの共同体に招かれて、よい師、よい友、よい隣人にめぐい合い、心の支えをいただいている事に、肉親の存在よりも大きな愛を幸せを感じながら暮らしています。悩み事は絶えませんが、いま私の心の中には穏やかで暖かい充足感があり、キリストがくださった主の平和を体感しつつあります。— 神に感謝 —

森 正子

*ハープの
見上由紀さん*ヴァイオリンの
松田まさ子さん*三重奏とソプラノ
坂井里衣さんの
歌声響く。*オルガニストの
安積道也さん*演奏家の方々へ天使幼稚園児による花束
贈呈。



★70年をふりかえってみて

昭和20年8月15日私は小倉陸軍病院に勤務していました。この日が来るまでは、毎日空襲で患者さんと共に防空小屋に入ったり出たりの日々でしたが、15日に天皇様の一言ですべての人の動きが変わりました。(皆さん泣きました)

それからは8月18日より戦地で負傷された患者さんが帰って来られる様になり、小倉の病院は患者収容病院のため、博多に帰って来られる患者さんを迎えに行ったり、空襲の時とは違った忙しさでくたくたになっていました。

今考えるとあの頃は若かったなあ～。何をしてもあまり疲れずこんな私でも先へ先へと動いていました。収容が一応終わると、兵隊さんは退職で帰る人と、転勤希望の人がありました。兵隊さんは沖縄の人が多かったので、退職者も多かった。また業務内容もそれなりに変わり病院の名称も陸軍が消え国立病院となりました。私も昭和25年の1月に国立小串病院に転勤となりました。

小串での生活は少し淋しさを感じ、小倉で仲が良かった友達を思い出しました。友達は長崎のカトリック信者の方でとてもいい人でした。私は平凡に勤務するよりカトリックが好きだったので、勉強し何時かは信者になりたいと思っていました。

或る日、下関細江教会を調べて尋ね信者になる勉強をとお願いしました。勤務をしながらのため一般の人のようににはできませんでしたが、一年後に何とか信者になりました。当時、中山神父様と田尾さんがいらして二人共とてもよくしてくださったことを今でも忘れることがありません。(当教会も随分変わり、私が通った頃は一階だけでしたのに・・・)

戦後70年あの頃と今を考えると何もかも変わり、まるで戦後の浦島太郎の様です。私もあの頃は本当によく働き、患者護送で各地

に行き、また登山グループにも入っていたのですが、今はこの様に教会に来る事以外は出歩く事はありません。でも私が好きな教会。これは私の生き甲斐です。それに皆さんが優しく声をかけてくださるので、これ以上に幸せはありません。高齢者の私にとって感謝以外に何物にも代えられません。これからもできだけ迷惑をかけないように参りますので宜しくお願い申し上げます。

神様と共に皆さんにも心より感謝しています。ありがとう、ありがとう、ありがとうね・・・。

中野 スエ子

大切なお知らせ

Merry Christmas
待降節黙想会

12月13日(日)9:00

講師；ジェームス・ボニー神父

- ・ 9:05 第一講話
- ・ 9:50 休憩
- ・ 10:00 第二講話
- ・ 11:00 ミサ
- ・ 12:00 昼食
(お弁当注文受付中)
- ・ 12:45 回心と祈り

★主の降誕を迎える準備として黙想会に参加し、ゆるしの秘跡を受けましょう。

細江カトリック教会
ホームページ

http://hosoechurch_sakura.ne.jp

★施設の小修理やゴミ出し、庭の手入れ等、皆さまに感謝！感謝！
(事務室より)